

# 特集

## 平成24年度予算

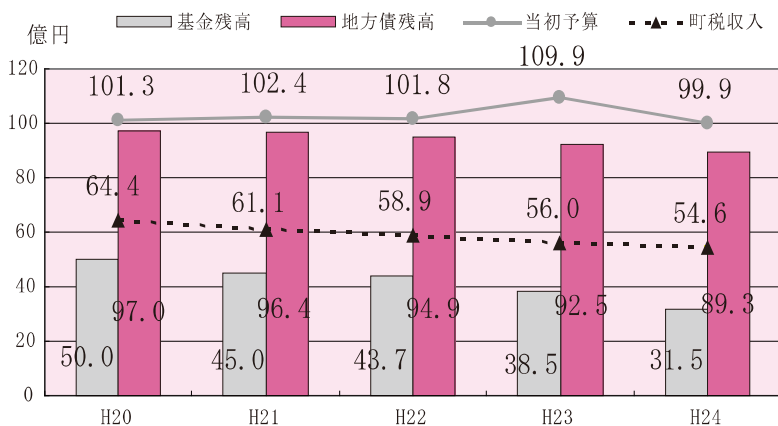
# 一般会計予算額99億8,700万円 (前年度比8.9%の減)

平成24年度予算が3月議会において可決されました。  
本年度の一般会計予算額は99億8,700万円となり、前年度と比較して9億7,800万円(8.9%)の減となりました。また、特別会計を含めた予算総額は162億6,600万円となり、前年度比較で9億7,900万円(5.7%)の減となりました。

長引く不況の影響を受けて、平成24年度も町税収入は減少する見込みです。またこれに伴い、引き続き地方交付税のうち普通交付税については交付団体となる見込みです。

このような厳しい財政見通しの中、平成23年7月に策定した「上三川町財政適正化計画」により、さらなる行財政改革を推し進め、『より安心・安全で活力のあるまち 上三川』の実現を目指して、「上三川町第6次総合計画」に掲げる諸施策を着実に推進する予算を編成いたしました。

直近5年の財政推移(一般会計)



### 特別会計内訳

(単位：千円、%)

種別	年度	平成24年度	平成23年度	比較	
				増減額	増減率
国民健康保険事業		2,995,000	2,851,000	144,000	5.1
介護保険事業		1,612,000	1,614,000	△ 2,000	△ 0.1
後期高齢者医療		202,000	180,000	22,000	12.2
公共下水道事業		1,218,000	1,363,000	△ 145,000	△ 10.6
農業集落排水事業		252,000	272,000	△ 20,000	△ 7.4

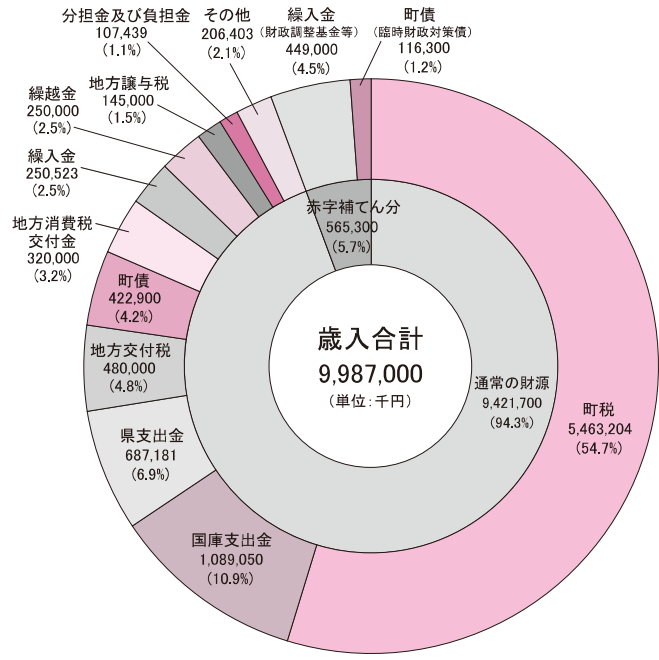
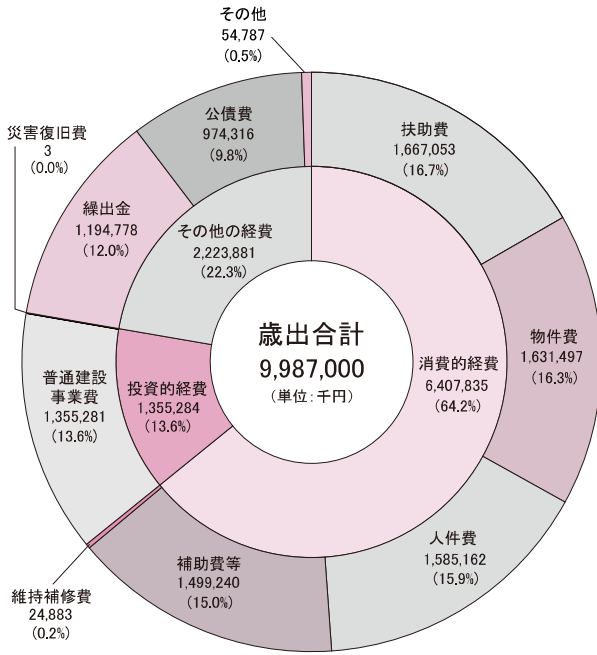
※各特別会計は、特定の事業を行うための会計で一般会計とは区別し、個別に経理しています。

### 水道事業会計

(単位：千円、%)

種別	年度	平成24年度	平成23年度	比較	
				増減額	増減率
収益的 (維持管理)	収入	528,333	564,031	△ 35,698	△ 6.3
	支出	523,665	550,291	△ 26,626	△ 4.8
資本的 (設備投資)	収入	69,183	99,733	△ 30,550	△ 30.6
	支出	250,048	255,655	△ 5,607	△ 2.2

※水道事業会計は、上水道管理運営のための会計で独立採算制をとっています。



**歳出**において普通建設事業費などの投資的経費は、上三川保育園建設助成事業や上三川いきいきプラザサウナ増設事業等が完了したことなどにより、前年度比8億214万3千円(37.2%)の減となりました。

24年度の主な事業として、新たに子育て支援センターを開設し、子育て支援活動・きめ細かな育児支援を実施します(事業費…485万7千円)。

また、緊急時における情報提供を含めた情報配信のためのメール配信事業及びとちぎテレビデー夕放送事業を実施します(総事業費…299万3千円)。

**歳入**において自主財源の根幹をなす町税が、個人町民税は年少扶養控除の廃止による増収が見込まれるものの、固定資産税は企業の設備投資の手控えから償却資産の減少と3年毎の評価替えに伴う在来家屋分の減価が見込まれ、前年度予算と比較して1億3,390万4千円(2.4%)の減となりました。

町税の減収等による財源不足を補うため、基金の繰り入れや臨時財政対策債の導入を今年度も行います。財政調整基金から2億3,400万円、町債管理基金から2億1,500万円を繰り入れ、臨時財政対策債を1億1,630万円借入予定し、合計で5億6,530万円の歳入の赤字を補てんします。

## 用語解説

- 【地方交付税】市町村の財政力に応じて国から交付されるお金
- 【町債】町が事業を行うために長期間借り入れるお金
- 【繰入金】一般会計、特別会計、基金の間で相互に資金運用するお金
- 【自主財源】町税や繰入金など町が独自に調達できるお金
- 【財政調整基金】財源に余裕がある年に積み立て、不足する年に取り崩すことで財源を調整し、計画的な財政運営を行うための貯金
- 【町債管理基金】町債の返済を計画的に行うための貯金
- 【臨時財政対策債】国の財源不足から、交付される地方交付税が足りない時に、借り入れてまかなっておく町債の一種で、後年に元利償還金の全額が普通交付税で補てんされる
- 【消費的経費】支出効果が単年度又は短期間に終わるもの、後年度に形を残さない経費
- 【投資的経費】施設の建設など将来に残るものに支出する経費

▼問い合わせ先＝企画課 財政係

☎09119